時事新報定價
時事新報は毎朝八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜休刊
〇時事新報社より直接に郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日迄	一日以上七日以下
一行 ニ付	十三錢	十一錢

本社（寄稿に付
東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依囑せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

病素實檢（昨日の續）　北里柴三郎

今茲に現今の免病方法の一例を擧げん
破傷風バチルンスは人工を以て之を發育せしむることを得べし獨り破傷風バチルンスのみならず虎列刺、腸窒扶私、肺結核等其病原の知られたるものは總て其バチルンスを人工にて發育せしむるみとを得べし扨破傷風バチルンスを人工にて發育せしむるときは一の物質を產生し極めて劇烈なる毒質を有せり此毒は又化學藥品を以て之を弱くせしむるときは其毒力大に減じ始めは僅かに一滴を以て馬一匹を斃すに足るべき毒力を有するものも之を弱むるときは十滴乃至二十滴を注入するも尙斃すべからざるに至る右の方法に從ひ毒力を弱めたるものを强弱幾種も作り置き試驗すべき動物即ち馬に向て極めて毒力の薄きものより注入し漸次順を逐ふて毒力の强きものを注入するみと三週間に及べば其後は極めて劇烈なる毒力あるものを注入するも試驗動物は終に破傷風に罹らざるなり斯くして既に破傷風に感ぜざるに至りたる馬の血液を採り其血液を鼠又はモルモット等に注入し凡を十時間も經過したる後更に强烈なる破傷風毒を注入するに決して發病するみとなし對照試驗に供したる動物即ち免病質となりし馬の血液を注入せずして破傷風毒を注入したるものは悉く破傷風を發して斃死すべし此の如く免病質と爲したる動物の血液を他の動物に注入して其動物を免病質とならしむるの力はアンチトキシーチにして血液の血精中に重に含存す而してアンチトキシーチの効は獨り動物體に病毒の侵襲するを禦ぎ動物をして該傳染病に感染せしめざるのみならず既に病に罹りたる動物を治癒するの効あり破傷風は其病因たるバチルンスは疵口より侵入し其部に毒を釀し之が全身に廻るときは人類と動物との別なく所謂痙攣强直を起し遂に死に至らしむるものなるが扨其毒を動物體に植え動物をして充分なる症狀を起さしめたる後、右の血液を注入して之を治療するみとを得るなり右の如く破傷風毒に習慣せる血液は之を接種して豫防すべく又治療すべきは今日研究上の結果なり實布拏里亞も同一の成績に達せり破傷風并に實布拏里亞の豫防及び治療の成績は既に右の如く好結果を得るに至りたるもの之を人體に試むるみとは此頃始めて着手せしも人體に在ての成績は此上研究を重ぬるに隨て好結果を得るや必せり
又古弗氏の發見に係る結核治療の方法を他の傳染病に應用せば如何結核治療に用ふるツベルクリンは結核バチルンスを人工を以て發育せしめ是より得たるものなるが之を得る方法を通俗的に概說すればソップを作り濾過して透明ならしめグリスリンを加へ之に結核バチルンスを殖えて體溫即ち攝氏三十七八度の溫度を有する蜉卵器中に置くときは極めて能く發育すべし其發育したるバチルンスの少量を取て動物即ちモルモットに接種するときは凡を三週間にして動物體の脾臟、肺臟、肝臟等は皆結核となり此のソップ中に發生したる結核菌を其儘火に上し水分を蒸發して濃厚の液と爲すときは其バチルンスは熱の爲め總て枯死す此液即ちツベルクリンなり扨此ツベルクリンを結核に罹れる人體若くは動物體に注入するときは結核病に侵されたる部分に至り其病毒と戰ひ毒力を減弱ならしめ終に其毒を去り之を平癒せしむるに在り又其健康なる組織は之を免疫せしむるの効あり
此方法を他の傳染病に應用せんと欲して種々の研究を遂げ終に虎列刺、腸窒扶私病等にも應用するみとを得たり即ち其バチルレンを前の手續に從て充分ソップの中に發育せしめ又熱して之を殺し其產生物のみを殘さしむ其熱度の高きに過ぐるときは作用を失ふが故に該バチルンスを殺すに足るべき攝氏六十度の溫度に僅少時間觸れしめて可なり斯くするときは病毒を殺すべき作用は消滅して毒を禦ぐべき物質を還殘す之を血液療法の試驗と等しく一旦動物に接種したるときは更に强烈の病毒を接種するも決して發病するとなきなり且血液注射よりも頗る少量にて足れるが故に治療的に於も實際に應用するみとを得るに至れり破傷風、實布拏里亞も此方法に由れば奏効速かなり
從來傳染病中只疵瘡を除くの外は一も之を豫防するみと能はざりしが今日は上來陳述するが如く毒を以て其毒を制し之を豫防し又之を治療するの方法を發見し結核、破傷風、實布拏里亞、虎列刺、腸窒扶私、の如きは殆んど治療の實効を收めんとするの時期に進み其他の傳染諸病は未だ全然其目的を達するに至らざるも此方法に從て研究を重ぬる時は終に其原因の明かなりし所のバクテリヤ及びプロトツオンの人工發育を爲し得るに至るべし
斯の如く近來バクテリヤ學の進歩するに從ひ傳染病を豫防し及び治療するの方法は全く其方向を一轉したり
虎列刺の病因即ちゴンマ　バチルンスなるものを發見せられたるが爲め疑似の患者は其排泄物を檢査して直に其病症を確定するを得、又進んて其原因の生理的性質を探究し患者の排泄物に消毒藥を投入して其蕃殖の本を絕ち傳播蔓延を防遏するに至り而して今日までは其侵襲を防ぐと之を消毒するとの方法を發見し結核菌生學者の務めとなせしか扨傳染病と云へるも其病と云へるも其實に至ては他の普通疾病と異なるなく之を治療する方法の研究は本來治療を專門とする內科醫の爲す所は熱あるを見て解熱劑を投し痛ありと聞て鎭痛劑を與へ如く徒らに症候療法を施すのみにして原因療法の研究頗る姑息冷淡に屬する
を以て終に衛生學者は自家の領分を越えて治療法にまで踏み込み即ち今日の衛生學者たるものは傳染病を研究して其原因を發見し豫防法を考へ更に治療法も研究せざるべからざる場合に立至れり幸に今日の進歩を得たるを以て之れか固有の豫防法又固有の治療法を探究して許多の傳染病を豫防し治療し得るに至るは余は今より十年以內に在らんみとを信ずるものなり（完）

正誤　昨日の本欄第二段第四十七行中「善感する時は四五十年間は激烈なる云々」とある四五十年は四五年の誤りなり

官報

○大藏省告示第四十六號
一（六分利付）起業公債未償還額
四百六十九萬六千六百五十圓
右本月三十一日整理償還ス
明治二十五年十月五日　大藏大臣渡邊國武

○大藏省告示第四十七號
一（六分利付）金祿公債　五百萬圓
右整理償還ノ爲メ本月中抽籤執行ス
但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ減額アルヘシ
明治二十五年十月五日　大藏大臣渡邊國武

○遞信省告示第二百三十四號
本年九月當省第二百十二號ヲ以テ長門國下ノ關海峽ノ北西藍ノ嶋浮標流轉セシ旨及告示置候處今般該浮標ヲ舊位置ニ碇置セリ
明治二十五年十月五日　遞信大臣伯爵黑田清隆

○第二豫備金支出
明治二十五年度第二豫備金支出
第十五回
一金二千六百三十三圓　大坂砲兵工廠砲架製造所烟突改築費及水壓器械場修繕費
本年七月落雷ノ爲メ大坂砲兵工廠砲架製造所烟突轉倒シ且水壓器械場破壞シタルヲ以テ其改築及修繕ヲ要シ本行ノ金額第二豫備金ヨリ支出ノ儀陸軍大臣ヨリ請求有之本大臣同意ヲ表シ之ヲ上奏シ九月三十日勅裁ヲ得タリ
明治二十五年十月五日　大藏大臣渡邊國武

雜報

○天涯の異界に所存を通ぜんとす　アールシエークラウレーと云へる人は火星に相圖する方法に就き專賣特許を得たりと云ふ英國のセーントシエームス雜誌に送りたるクラウレー氏の手紙に余は是れまで回光鏡（リオグラフ）の相圖法に就き多くの經驗ある者なれば此最も面白き事柄の爲めに一言を貴社に送らんとするなり先づ第一に火星又は其他の惑星に閃光を送らんとするは難きみとに非ず要用なるは唯電氣の作用に適せしめたる一組の鏡より成りたる至て簡單の器械を構造する費用のみ火星へ相圖するは難きに非ずとの次第は我輩の今日用ひ居る相圖燈が非常の距離を照らすに恰も咫尺を照らすが如きを以て知る可し左れば此千風の成功に就き若しも疑ありとせん乎その疑は火星の上に果して我輩の相圖を受けて之に應ずる者あるやなしやの一事に止まるなり余は恐らくは斯る者の火星に居て處々方々の星に或る工風に由て相圖を爲し現に我世界の人の注意を呼起しつゝあるを信ずるなり若し然らざれば彼の火星の面に不思議に現れ又之より不思議に隱るゝ所の「堀割」及び圓き點を何として了解すべきやとありたりと

○臨濟宗七本山の決議　臨濟宗七本山の總代として同宗天龍寺派管長由利橋水師が去月出京の上曹洞宗の兩山するに至りしが同七本山已に此の如くなる上は唯自ひ各宗派管長等にて調停の外無く斷然局外中立の方法を採と云ふ

○三間憲兵大佐　は宮城數凡そ二週日の見込を以て

○布哇出稼人の出發　廣出稼人男女百二十五人は

帆の山城丸にて出發の豫

○獸類出入往來停止　千匹炭疽熱の流行せるを以て區域內に獸類の出入往來

○類似牛疫　大分縣北海は平素牛の買を以て專鮮國に派し同國產牛二十に遭ひ辛くして去月八日の九日陸揚に際し病牛三頭頭は上陸間もなく斃死し中僅に健康體二頭を現存し當時獸醫は航海中暴風にあ疲勞甚しきより此疾病染病等の兆候なしと診斷頭の病牛を生じ六頭斃死袋に朝鮮種の斃死も亦同官郡村吏等專ら豫防消毒外の原野に離隔せり然る港より地方產牛十一頭を船中にて病死せるを以て港せしに附き電信を以て亦右急報に接するや獸醫案せしめたるに果して附き直に撲滅豫防に着手

○君子不恥平屋漏　とは、年他人の熱に依て渡世し毎度馬脚を露はす隨分赤目なきゆゑ恥るにも及ばず耳も目もわり少し遠慮し

○追善演藝會　一昨四日にて追善演藝會を蠟燭町の者は何れも生前の交誼わ字太夫其他の常盤津、都連播摩太夫の義太夫、正一、伯圓、伯知、琴凌等の謠談喬等の落語、驅歌の都々一其他の琴、古童の尺八執場者は日の暮れるをも忘れで一杯の大入りなりしと

○米國發見の艦隊其儀　パス米國發見の四百年祭コロンバスが當時乘込み サンタ　マリヤ、ニーナ及マリヤを古記の云ふ所の夫の服裝等に至るまで悉く覽會（寄贈するとのみと